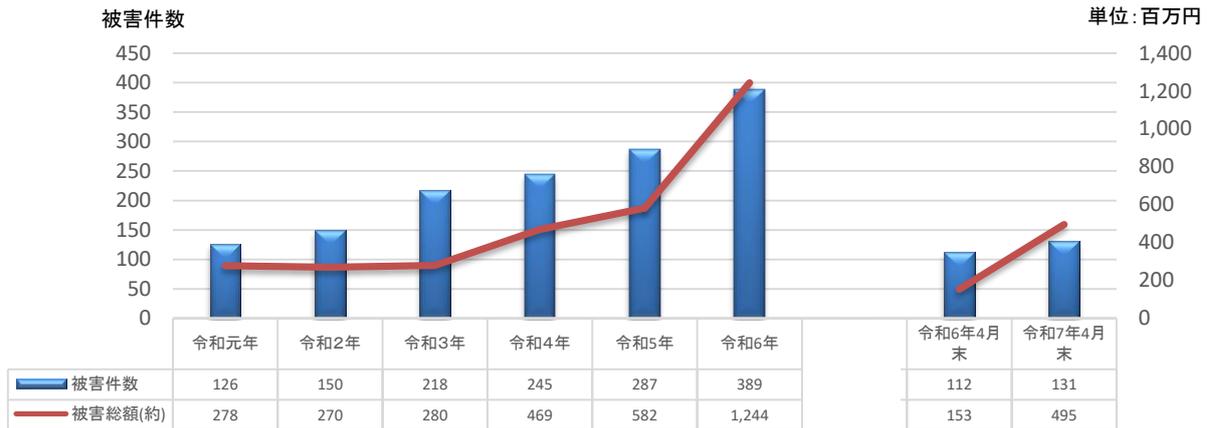


特殊詐欺発生情報

1 特殊詐欺発生状況

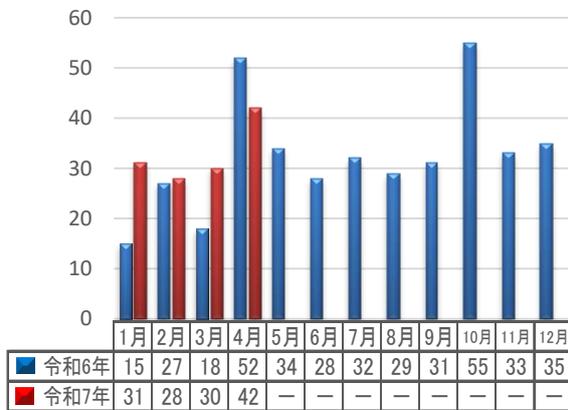
(1) 年別発生件数



令和6年4月末の被害件数及び被害総額はともに前年同期を上回った。

(2) 月別発生件数

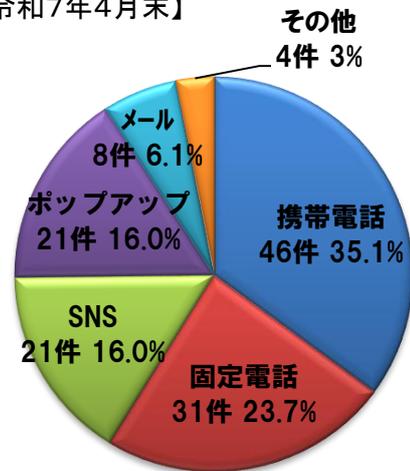
4月は前年同期比+10件となった。



(3) 被害の特徴 【要求方法】

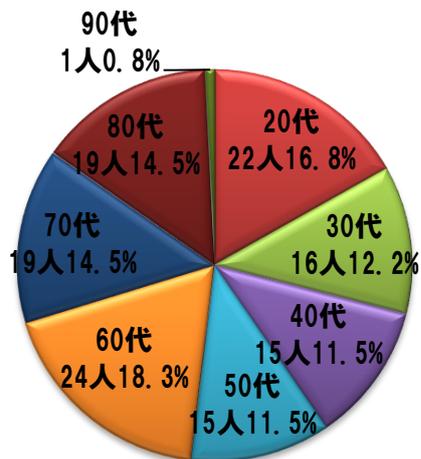
携帯電話への要求が約40%を占めている。

【令和7年4月末】



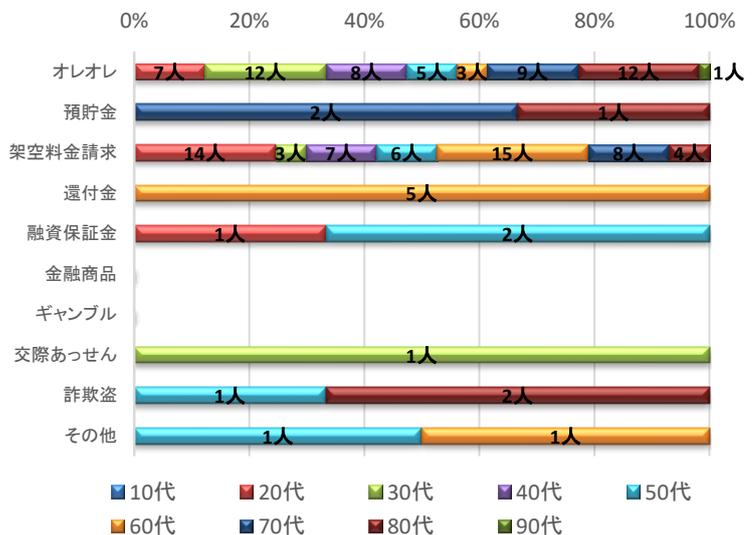
2 特殊詐欺被害の特徴【令和7年4月末】

(1) 被害者の年齢別

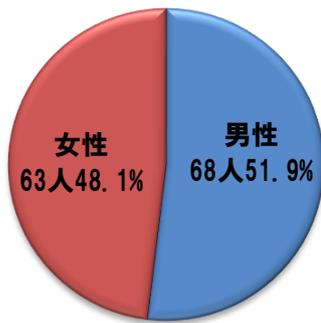


被害者の約40%が65歳以上の高齢者

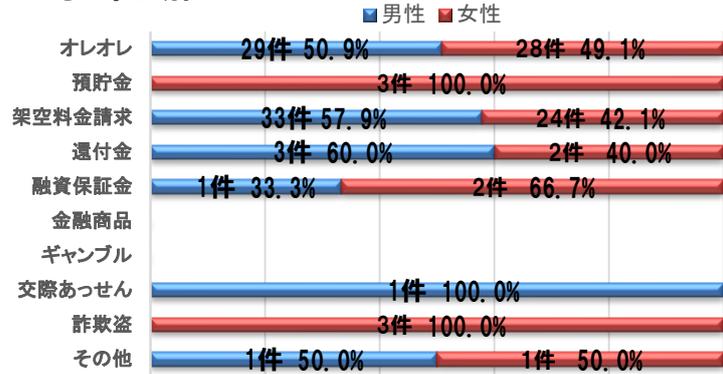
○ 手口別



(2) 被害者の性別



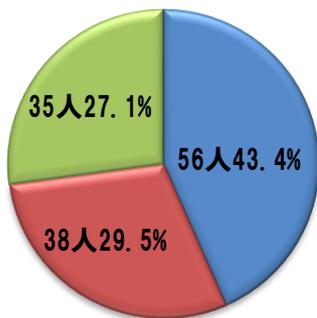
○ 手口別



(3) 被害者の家族構成

※ (3)、(4)、(5)は、被害者 131 人のうち、129 人が回答。

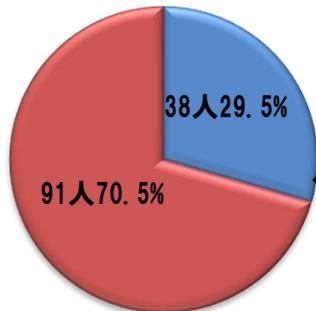
○一人暮らしが約40%、高齢者世帯が約30%を占める。



- 独居(一人暮らし)
- 同居(65歳以上の高齢者世帯)
- 同居(上記の同居以外)

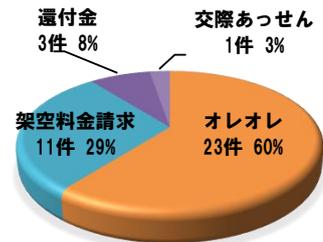
(4) 被害に遭った手口を知っていたか

○約70%が手口を知らなかった。



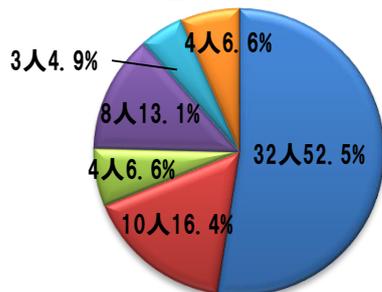
- 知っていた(なんとなく知っていた)
- 知らなかった

<「手口を知っていた」の手口別内訳>



(5) 手口を知っていたにもかかわらず、被害に遭った理由 ※複数回答あり

○「自分が被害に遭うと思っていた」が約50%を占める。

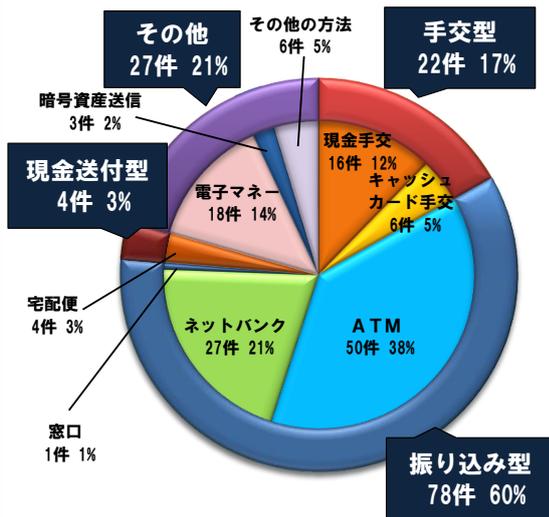


- 自分が被害に遭うと思っていた
- 動揺して手口を思い出せなかった
- 今回、被害に遭った手口と以前から知っていた手口が異なっていた
- 不安をおおる言葉を言われた
- 手口の名前は知っていたが、その手口の内容を十分理解していなかった
- その他

<その他>

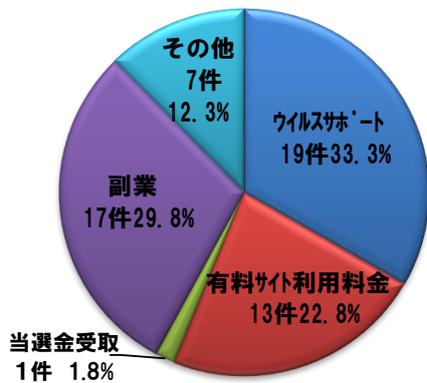
相手が名乗った名前や会話の内容を信じてしまった	2 人
会社のロゴや警察手帳などの画像を示され信じてしまった	1 人
返金されると言われ、信じてしまった	1 人
	人
	人

(6) 交付形態(割合)



交付形態	件数	金額(万円)	割合(件数)
手交型	22	2億1,972	17%
現金手交	16	2億805	12%
キャッシュカード手交	6	1,167	5%
振り込み型	78	2億2,999	60%
ATM	50	1億1,702	38%
ネットバンク	27	1億1,028	21%
窓口	1	269	1%
現金送付型	4	2,189	3%
レターパック	0	0	0%
書留類	0	0	0%
普通郵便	0	0	0%
宅配便	4	2,189	3%
その他の送付	0	0	0%
収納代行利用型	0	0	0%
コンビニ決済	0	0	0%
その他の収納代行	0	0	0%
その他	27	2,337	21%
電子マネー	18	1,149	14%
暗号資産送信	3	1,188	2%
その他の方法	6	0	5%
合計	131	4億9,497	100%

○ 架空料金請求詐欺の内訳



架空料金請求詐欺の内訳	件数	金額(万円)	割合(件数)
ウイルスサポート	19	2,745	33.3%
有料サイト利用料金	13	1,646	22.8%
当選金受取	1	263	1.8%
副業	17	2,611	29.8%
その他	7	506	12.3%
合計	57	7,772	100%

3 特殊詐欺被害防止対策の状況

(1) 全件通報(件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	215	171	211	181	193	176	282	227	199	192	232	395	2,674
令和7年	253	189	254	207	-	-	-	-	-	-	-	-	903

(2) 阻止状況(件数)

